

観光と私たちの暮らし

観光は、人々の心や人生を豊かにし、湯沢町の持続的な発展を支え、町民の暮らしを向上させ、国際交流にもつながる大切な活力です。ここでは観光が私たちの暮らしや産業、経済などにどのように関わっているのかをご紹介します。

観光による経済・税収

湯沢町を活性化する観光のチカラ

観光客が町内に訪れた数



※令和5年度の目的別観光客数調べの合計 3,455,800人
令和6年3月の町民8,063人

観光客が町内で使った平均額



※令和5年冬季 1人あたりの平均消費額
日本人33,252円 外国人80,683円

観光産業の 総生産額

159億円

※平成30年度市町村民経済計算
宿泊・飲食サービス業

観光による税収 入湯税

1億2千万円

※令和5年度の入湯税収入額
1億2,871万9,800円

湯沢町への ふるさと納税の額

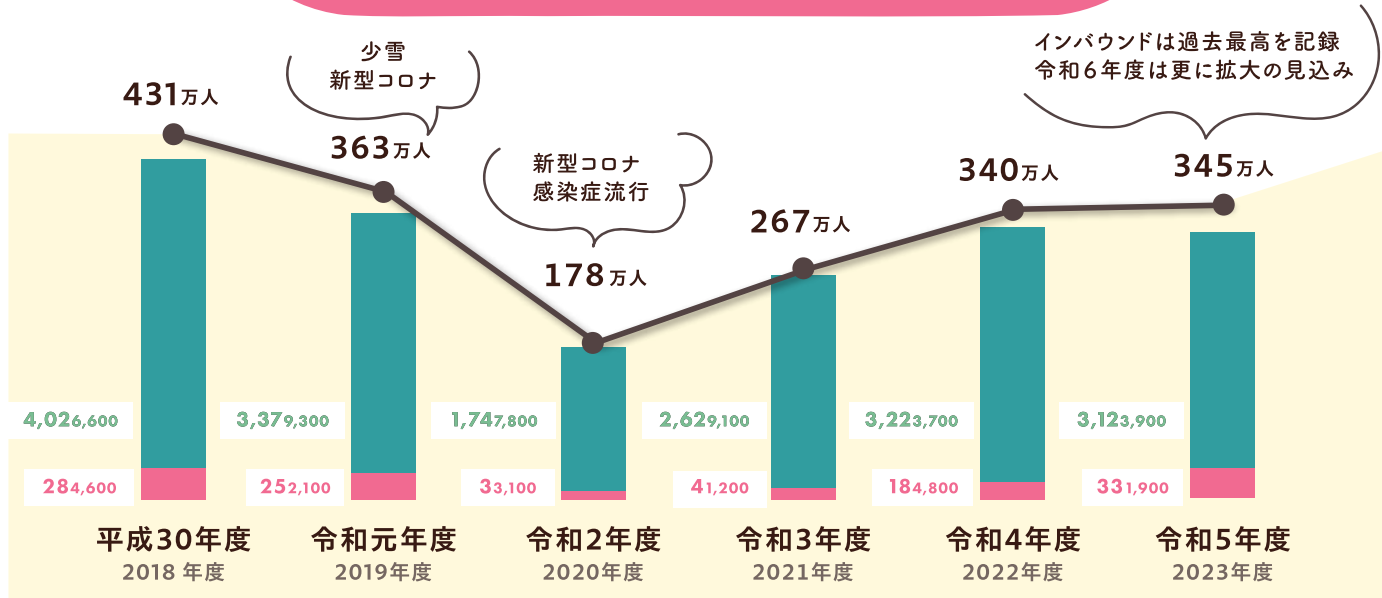
9億円

※令和5年度は9億9万2,834円(寄付総額)
内、寄付者が町内で使える商品券は
6億4,070万円

湯沢町の観光客数の推移

新型コロナウイルス感染症の影響から回復途上

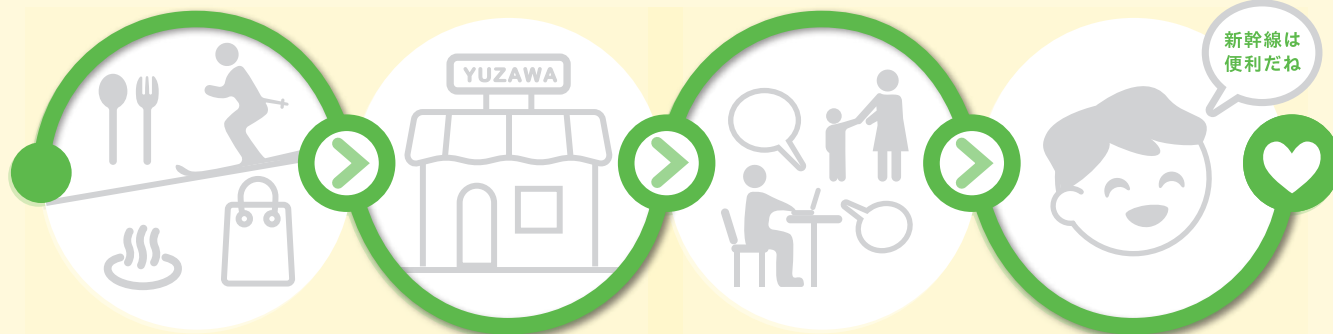
海外
国内



私たちの暮らしにつながる観光

～観光が盛んになれば、街が元気に、心が豊かに～

観光客の行動 ➤ 経済効果の波及 ➤ 雇用の増加 ➤ 生活環境の向上



・スキー ・入浴 ・宿泊
・食事 ・買い物
・新幹線やバスの利用
・高速ICの利用
・イベント ・文化体験
・地域の人との交流

など

・交通機関
・宿泊施設
・飲食店 ・土産屋
・観光施設 ・清掃業
・製造業 ・農業
・広告/印刷業

など

・事業の活性化
・雇用の増加
・町財政への貢献
・法人町民税
・固定資産税
・入湯税

など

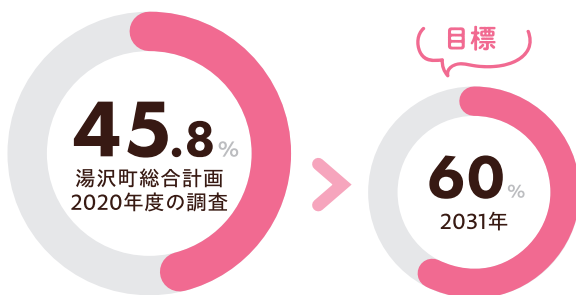
・豊かな食文化
・交通インフラの整備
・雪国文化の醸成
・買い物環境の向上
・景観・環境の維持向上
・多種多様な人との交流

など

湯沢町の町民の意識

皆様に本音を聞いてみました

観光客におもてなしの心で
接している町民の割合



湯沢町のアイデンティティ
古くから人をおもてなし
歴史がある

若い世代(合宿、学生)、スノー
エントリー層などの初めての旅
や経験を温かく迎え入れてきた

湯沢町の日本一

※2025年3月現在

観光客に話したくなる町の自慢

日本一

スキー場数が
多い市町村

日本一多いスキー場数

町内に11のスキー場

日本一

ドラゴンドラ

日本一長いゴンドラ

2001年の開業当時は世界最長
5,481m 約25分

日本一

田代
ロープウェイ

日本一高いロープウェイ

高所恐怖症には危険な高さ
瞬間地上高230m

日本一

苗場インディペンデンス
ボードウォーク

日本一長いボードウォーク

フジロックの森を歩く1.7km

湯沢町がめざす観光の未来

多くの旅人を癒してきた湯沢町の「人」と雪の恵みがあるからこそ春夏秋冬



通年型観光

春はトレッキング、夏は登山や川遊び、秋は紅葉、冬のスキーなど通年の雇用や収入の安定化を図る。

自然環境に 配慮した 観光まちづくり

住民の生活と産業と経済を支える自然に感謝し、適切な管理と保全を行う。

利用者目線の 観光まちづくり

住民にもプラスになる「住んでよし、訪れてよし」の視点を大切にする。

誇りを持てる・ 次世代につなぐ 観光産業

子供達が将来も住み続けたいと思える町を目指す。